

20歳がスタート！「国民年金」



加入者は、保険料の納付方法や給付の内容が異なっているため、次のように分けられています。(下表)

国民年金被保険者には、3つのグループがあります

なお、学生の方や、収入が少なく保険料の納付が困難な方は、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」などといった保険料の支払いを猶予する制度がありますので、住所地の役場の国民年金担当窓口で申請してください。

国民年金は、老後の生活保障だけでなく、万が一、病気やけがで障がいが残ったときや、一家の働き手が亡くなってしまうときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともありますので、「あの時に・・・」と後悔する前に、国民年金に加入し納付しましょう。

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は、必ず国民年金に加入することになります

被保険者の種類	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
対象者	自営業、自由業、農林漁業、無職、学生の方など	厚生年金・共済組合に加入している会社員、公務員など	第2号被保険者に扶養されている配偶者
保険料	国民年金保険料を自分で納付【定額】14,980円(平成24年度)	厚生年金保険料・共済組合掛金の中で負担	被保険者本人は保険料を納める必要は無い 配偶者の加入している年金制度が負担
加入手続き先	住所地の役場の国民年金担当窓口	勤務先	配偶者の勤務先

○問合せ先
詳しくは、帯広年金事務所
☎ 0155(25)8113
または、町民課戸籍年金窓口係
☎ (66)4031 内線177・178
までお尋ねください。

公的年金制度では、全ての制度に共通して基礎年金番号が用いられています。公的年金(国民年金や厚生年金など)に初めて加入すると、基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、以降加入年金制度が変わってもそのまま同じ番号を使用し、加入記録や保険料の納付状況などが管理されます。

年金手帳は、年金に関する手続きの際に必要なとなりますので、大切に保管してください。

年金手帳は大切に保管しましょう

- 国民年金の給付は、3種類の基礎年金があります**
- 老齢基礎年金**
65歳から生涯受けられます。
- 障害基礎年金**
病気やけがで障がいの状態になった方が受けられます。
- 遺族基礎年金**
夫が亡くなったときに子のある妻または子が受けられます。

高齢者の方が元気でいられるためのお手伝いをします

はっらっ元気

通信

お気軽にご相談ください

鹿追町トリムセンター内
地域包括支援センター
居宅介護支援事業所
☎ 66-1311 FAX 66-1818



かいご先生

知っておこう!! 移送サービスについて No.1

前回までのあらすじ・・・心臓病を患っている夫と二人暮らしの花子さん。花子さんでも呼吸が苦しくなることがあるため、冬になり除雪の心配をしていましたが、除雪にもいるるなサービスがあることがわかり、夫と相談してみることにしました。



花子さん

近所の方で除雪を手伝ってくれる人に、この前教えていただいたことを話したら、「家の前くらいなら除雪してあげるから、気にしないで」と言ってくれて。夫とも相談して、引き続き近所の方をお願いすることにしました。



それは大変ですね。サービスとしては、移送サービスといわれるものがあります。移送サービスは利用形態も多種多様です。



そうですね。



それは良かったですね。近所の助け合いも大事ですよ。



まず、民間の業者が行っている福祉タクシーと呼ばれるものがあります。対象になる人やサービス、料金も業者さんによって異なります。車椅子でも大丈夫だったり、運転手がヘルパーの資格を持っていたり、できるサービスもそれぞれ違います。料金の算定は、時間でみたり距離でみたりと一律には決まっていません。これが一番利用できるかもしれませんね。



ありがたいです。ただ、夫も心臓の調子が悪く、運転もやめました。このツルツル路面だし、何かあっても困るので。



そうですね。通院などはどうしていますか？



はい。それ以外にどんなサービスがありますか？



それが困っています。帯広まで通院していますが、今は近所の人をお願いしています。だけど、申し訳なくてね。途中、呼吸も苦しくなることがあるし。

～次号へつづく～

～西十勝で福祉のネットワークづくりをしています～

西十勝を中心に活動する、保健・福祉・医療・介護分野のさまざまな専門職がつながりを深めたり、情報交換する場として平成23年に「西十勝地域の輪」ができました。

今まで6回の研修会が開催され、平成24年11月21日はトリムセンターにて「自分の町自慢～西十勝のセールスマンになるう～」と題して、自分の町のPRと他町のいいところを出し合いました。

これからもこのような活動をとおして、専門職が連携しやすくなり、町民の皆さまにとっても、住みなれた町でいつまでも健康で過ごせることにつながればと思っています。

